

えっとまめな介護だより Vol.19

市では、令和3年度からアクティブシニア世代等を中心とした『介護お助け隊』事業を実施しています。今回は『介護お助け隊』の登録者数など、現在の状況についてお知らせします。

『介護お助け隊』とは？

介護に興味・関心がある方、仕事を退職された方、子育てが一段落された方、元気な高齢者などに『介護お助け隊』に登録していただき、介護人材不足の問題を抱える介護事業所で介護の周辺業務に従事していただきます。

『介護お助け隊』と介護事業所とのマッチングは、高齢者福祉課が行います。マッチング後、両者の同意が得られれば、介護事業所と実際に雇用手続きを行い、就労がスタートします。

『介護お助け隊』の業務は、介護事業所の業務のうち、部屋の掃除や食事の片付け、利用者の話し相手、レクリエーションの手伝いなどの専門的な知識を必要としない「介護周辺業務」です。

『介護お助け隊』の登録者数

令和4年9月末現在の登録者は22名です。登録者の皆さんは「自分にできることで何か役に立てるのなら」「健康でいる間は元気に働きたい」「両親が介護事業所でお世話になったので、恩返しをしたい」という思いで登録されています。

介護事業所とのマッチング数

登録者22名のうち、5名の方が実際に介護事業所で就労されています。1日3～4時間、週3～4日程度の勤務が中心となっています。

『介護お助け隊』の方へインタビュー

マッチングを経て、特別養護老人ホームくしろ宝寿苑で『介護お助け隊』として勤務している竹内さんにお話を伺いました。

◆業務内容

1日4時間、月16日勤務しています。トイレ掃除や施設の環境整備として草むしり、蛍光灯の交換等を行なっています。施設の環境整備については自分から作業内容を提案し、取組むこともあります。



工作中的竹内さん

◆『介護お助け隊』に登録したきっかけ

仕事を退職後、家にいる時間が長くなり、ボランティアなど何か自分にできることはないかと思っていた時に『介護お助け隊』を募集していることを知り、登録しました。

◆介護事業所で働いてみて感じたこと

介護事業所の職員さんの大変さを実感し、皆さんの働きぶりに驚きました。仕事をしている時に、入居者の方から「ありがとう」と声をかけられた時は、とても嬉しかったです。張り合いのある仕事で日々の生活が充実しているので、元気に限り続けられたらと思います。

『介護お助け隊』に登録希望の方や興味・関心がある方は、高齢者福祉課まで問い合わせください。